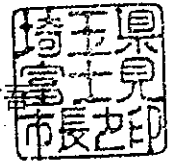


富 道 第 152 号
平成20年11月14日

国土交通省道路局長 様

富士見市長 星野 信吾



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

貴職におかれましては、日頃より富士見市道路行政に対しご指導ご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記の件につきまして、別添のとおり回答いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式1
埼玉県富士見市

- ・富士見・川越有料道路の延伸事業の早期完成を望みます。
- ・富士見川越有料道路の無料化に伴う国道254バイパス浦和・所沢線接続箇所の渋滞緩和対策及び混雑回避車両の市内市道への流入増加に伴う安全対策を講じて頂きたい。
- ・多くの自治体が抱える問題として、財政状況の悪化により早期整備が望まれる都市計画道路建設が遅延している状況にある。
したがって早期整備実現を図る為の国庫補助制度の拡充を望みます。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1地域の現状と抱える課題

様式2

埼玉県富士見市

○現状 ・都市計画道路等の幹線道路は、区画整理事業等により路線の一部が整備されているが、幹線道路として完成していない為、本来の機能が発揮できていない。 ・歩道整備については、新たな用地の確保が困難なことから現況道路の幅員の中で歩道部分を創出する等の工夫が求められている。 ・駅周辺の美観の向上と歩行者の安全性の確保の観点から放置自転車対策や路上駐車対策が求められている。	○課題 ・幹線道路としての連続した整備ができていない為、既存主要道路の交通渋滞や生活道路の中に通過車両が入り込む等の問題が生じており、早期整備が求められている。 ・限られた財源の中では、緊急性の高い箇所の整備と併せ段差解消などバリアフリー化に取り組む必要がある。 ・自転車駐車場の整備、駐輪市道の強化、違法駐車の解消に取り組む必要がある。
--	--